

創業計画書（事業計画書）

【記入例】

お名前

作成年月日：平成 年 月 日

- ・この書類は、ご面談にかかる時間を短縮させるために活用させていただきます。お手数ですが、ご協力のほどお願いいたします。
- ・なお、本書類はお返しできませんので、ご了承ください。
- ・この書類に代えて、お客様ご自身が作成された計画書を提出いただいても結構です。

1 創業の動機・事業の経験等

(1) 今回創業予定の業種	婦人服、子供服の小売業	(2) 創業(予定)時期	平成 年 月 日
(3) 創業されるのは、どのような目的、動機からですか？	・自分の経験を生かしたい。 ・かねてから自分の店をもつことが夢だった。 ・〇〇駅の近くに良い店舗が見つかったため。		
(4) 過去にご自分で事業を営んでいたことはありますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 事業を営んでいたことはない。 <input type="checkbox"/> 事業を営んでいたことがあり、現在もその事業を続けている。 <input type="checkbox"/> 事業を営んでいたことがあるが、その事業をやめている。⇒やめた時期 年 月頃		
(5) 本事業の経験はありますか。(お勤め先、勤務年数など創業に至るまでのご経歴)	お勤めの期間	お勤め先(業種等)	
	〇年〇月～〇年〇月	〇〇服飾専門学校卒 ()	
	〇年〇月～〇年〇月	(株)〇〇衣料(婦人服卸)5年勤務 ()	
	〇年〇月～年 月	(株)フティック〇〇(婦人服小売) ()	
	〇年〇月～年 月	7年勤務 (現在の月給250千円)	
	〇年〇月～年 月	退社予定 (退職金30万円) ()	
		()	
(6) 取得されている資格等	有 () ・特になし		

2 取扱商品・サービス

(1) お取り扱いの商品、サービスを具体的にお書きください。	① 婦人服(約50点揃える。価格3,000円～20,000円)	(売上シェア %)
	② 子供服(約30点揃える。価格2,000円～15,000円)	(売上シェア %)
	③ その他(付近の同業店で扱っていない輸入小物価格500円～)	(売上シェア %)
(2) セールスポイントは何ですか。	・婦人向けにはトータルコーディネートができるよう、商品ごとの組み合わせを重視した品揃えにする。アクセサリなどの小物も豊富に揃える。	
	・子供向けには親とお揃いの服を揃えるなど、親子でコーディネートを楽しめるような商品を提供する。	

3 取引先・取引条件

	取引先名(所在地)	シェア	掛取引の割合	回収・支払の条件		取引先名(所在地)	シェア	掛取引の割合	回収・支払の条件
販売先	① 一般個人(〇〇地区利用者)	%	%	即日 日戻	仕入先	① (株)〇〇衣料(〇〇市)(元勤務先)	50%	100%	末日 日支払
	② ()	%	%	日戻		② (株)××商店(〇〇市)(現勤務先の仕入先)	50%	100%	末日 日支払
	③ ()	%	%	日戻		③ ()	%	%	日支払
	④ ()	%	%	日戻		④ ()	%	%	日支払
外注先	① ()	%	%	日支払					
	② ()	%	%	日支払					

従業員等	常勤役員の数(法人の方のみ)	人	人件費支払	給与	ボーナス
	従業員数(うち家族従業員)	0人(0人)		末日	支給月
	パート・アルバイト	1人		翌15日支払	

4 今回事業に必要な資金と調達の方法

今回事業に必要な資金の内訳		金額(千円)
設備資金 (見積書等添付必要)	店舗、機械、車、備品、家賃(敷金のみ)等が対象です。	
		6,200 千円
	(内訳)	
	・内装工事費(〇〇社見積のとおり)	4,000 千円
	・備品類(〇〇社見積のとおり)	500 千円
	・商品棚(〇〇社見積のとおり)	800 千円
	・保証金	900 千円
	設備資金の小計(1)	6,200 千円
運転資金	商品仕入、家賃、人件費等が対象です。	
		2,300 千円
	(内訳)	
	・商品仕入	2,000 千円
	・広告費等諸経費支払	300 千円
	運転資金の小計(2)	2,300 千円
必要額の合計(3) = (1)+(2)		8,500 千円

必要資金の調達の内訳		金額(千円)
自己資金(1)		2,500 千円
親、兄弟、知人、友人等からの借入(2)		
借入先	返済方法	
沖縄公庫からの借入(3)		#### 千円
元金70千円×86回(年〇.〇%)		
他の金融機関等からの借入(4)		
借入先	返済方法	
調達額の合計(5) = (1)+(2)+(3)+(4)		8,500 千円

↑ 合致します

単位：千円

5 事業の見通し(月平均)

	創業当初	軌道に乗った頃 (年 月 頃)	売上高、売上原価、営業費を計算した根拠を記入ください。
(1) 売上高	1,950 千円	2,340 千円	<創業当初> ①売上高 平均単価7,500円、購入客1日10人26日営業 7,500円×10人×26日=1950千円
①			
②			
③			
④			
⑤			
(2) 売上原価(仕入高)	1,170 千円	1,410 千円	②原価率 60%(勤務時の経験から)
①			
②			
③			
④			
⑤			
(3) 売上総利益 (3) = (1) - (2)	780 千円	930 千円	
(4) 営業費			③人件費 アルバイト1人、時給800円 1日5時間 800円×5時間×26日=110千円 家賃 150千円 支払利息 6000千円×年〇.〇%÷12ヵ月=20千円← その他 リース料・光熱費・通信費等 110千円
① 人件費	110 千円	160 千円	
② 地代家賃	150 千円	150 千円	
③ 支払利息	20 千円	20 千円	
④ その他経費	110 千円	160 千円	
・			
・			
・			
・			
・			
合計	390 千円	490 千円	<軌道に乗った後> ①創業時の1.2倍は可能(勤務時の経験から) ②当初の原価率を採用 ③人件費 アルバイト1人増 5万円増 その他諸経費 5万円増
(5) 差引利益 (5) = (3) - (4)	390 千円	440 千円	← 事業主分(会社組織の代表者等除く)の人件費と借入金の返済元金はここから支払われます。

人件費は、従業員数もわかるようにしてください。

支払利息(月間)は、「借入金×年利率÷12ヵ月」

※ 他に参考となる資料がありましたら、計画書に添えてご提出ください。